

教員名	天野 知香 (AMANO Chika)
所 属	人間文化研究科比較社会文化学専攻
学 位	博士 (文学)
職 名	助教授
URL/E-mail	chika@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

アンリ・マティス・マチス / 装飾芸術、アール・ヌーヴォー / アール・デコ /
19世紀末・20世紀・現代・フランス / ジェンダー・美術史・ポストコロニアリズム

◆主要業績

- ・編著：天野知香、読売新聞東京本社文化事業部編、『アール・デコ 1910-1939』読売新聞社／東京都美術館 2005年（天野知香主要論文：『アール・デコの位相』—装飾芸術／ブラック・デコ／モダン・ガール』 pp.15-28、および「作品、作家解説」他）
- ・共著：天野知香「アール・デコ」と他者の身体」、鈴木杜幾子、馬淵明子、池田忍、金恵信編著『交差する視線—美術とジェンダー2』ブリュッケ、2005年（執筆論文 pp.315-345）
- ・口頭発表：Chika AMANO, "Representation of Women in the Age of Art Deco", 9th International Interdisciplinary Congress on Women, Women's Worlds 2005. Seoul, Korea, 22 June 2005

◆研究内容

近代、特に19世紀から20世紀におけるフランス美術を中心に、具体的な事例や作例を通じて芸術、装飾をめぐる歴史的社会的な制度や理念、心性の構造や変化を研究し、視覚表象の歴史的社会的な位相と意味生産のプロセスを考察することに取り組んだ。具体的な事例としては、フランスの画家アンリ・マティス、「アール・ヌーヴォー」から「アール・デコ」と呼ばれた時代の装飾運動をめぐる諸問題の検討、20世紀における女性芸術家研究、を目下主要な研究対象としており、フェミニズム、ポストコロニアリズムの視点を含めた美術史学の理論構築と実践に取り組んだ。特に両大戦間の「アール・デコ」と呼ばれる時代におけるフランスの装飾や絵画、彫刻、写真といった視覚表象の事例を取り上げ、「アール・デコ」と呼ばれた視覚性の特質を歴史的社会的な文脈の中で明らかにすると同時に、当時のジェンダーと植民地主義の観点が密接に絡みついた表象の構造を明らかにした。

◆教育内容

美術史の学問的な枠組みを再検討し、歴史的、社会的な位相において視覚表象をどのように捉え、分析するかに関する方法論的な視点を養うことを重視した。論文購読や授業を通じ、フェミニズム、ポストコロニアリズムを含めた多様な方法論を検討し、具体的な視覚表象分析の実践を通して、どのような立場や視点から視覚表象に向き合うのかを自覚的に考察しながら、実証的論理的に対象を論じる力を養うことを主眼とした。講義においては、具体的な事例をフランスを中心とした19、20世紀の美術の中からとりながら、上記の視点から分析の試みを示し、またゼミにおいては、英文、仏文による理論的な方法論的な文献の精読とともに、文献収集や調査の方法を学ばせた。さらに各人の研究発表を通して表象分析の実践を促し、参加者同士の議論を通じて、その方法論に対する自覚を養い、実証的な論証の訓練を重ね、論理的な思考力や構成力の養成に力を注いだ。

◆将来の研究計画・研究の展望

将来的には現在取り組んでいる視覚表象分析の方法論的研究を、理論的検討および具体的な分析の実践の両面を通して学際的な見地からさらに精緻なものとし、他領域との連携をより柔軟に図りうるものとしてゆきたい。そのことによって美術史学を、現代の社会において、閉ざされた停滞的な一学問領域ではなく、かつまた単なる文化研究の一部として視覚表象分析の一翼を担うにとどまらない、開かれた意味深いあり方において実践することを目指すものである。

◆受験生等へのメッセージ

メディアにあふれている「美術」についての固定的な観念からまず自由になってほしい。そして自分がこれまで生きてきた中でどのような考えを持ち、どのような感性を養ってきたのかを自ら確かめながら、直接視覚的なイメージと向き合ってみてほしい。その時自覚される感性や考え方、知識は、あなた個人のものであると同時にあなたの生きてきた歴史や社会と密接に結びついているものである。「美術」であれ、私たちの日常を取り巻くイメージであれ、それらを見、また生産することは私たちが日々過ごしている現実の社会や生活と直接密接に結びついた体験であり、視覚表象の意味やあり方はそれが生産され受容される歴史や社会と切り離せない。美術史とはそのような視覚表象の意味生産のプロセスやあり方を実証的論理的に研究する学問です。視覚的なイメージと論理的実証的に対話することを通じて、これまでの「私」を揺るがし、時代や社会との関わりを見据え、捉え直してみたい。